

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公開番号】特開2008-109683(P2008-109683A)

【公開日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【年通号数】公開・登録公報2008-018

【出願番号】特願2007-297974(P2007-297974)

【国際特許分類】

H 0 4 B 7/26 (2006.01)

H 0 4 Q 7/22 (2006.01)

H 0 4 Q 7/36 (2006.01)

H 0 4 B 1/707 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 2

H 0 4 B 7/26 1 0 7

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D

H 0 4 J 13/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月1日(2008.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通常モードでは連続的に非圧縮フレームを送信し、圧縮モードでは間欠的に圧縮フレームを送信する符号分割多元接続システムにおける移動局に対して適用されるスペクトル拡散通信方法であって、

基地局から送信電力の増加または減少を指示する送信電力制御情報を受信する受信ステップと、

前記通常モードおよび前記圧縮モードにおいてフレームに対してビット単位のインタリーブを行う並べ替えステップと、

圧縮モードの際に前記並べ替えステップ実行後のフレームを圧縮して圧縮フレームを作成する圧縮ステップと、

圧縮モードの際に前記圧縮フレームを、フレームタイミングの先端を含む前方部分と、前記フレームタイミングの後端を含む後方部分と、に分けて配置するフレーム生成ステップと、

前記送信電力制御情報に基づいて、前記並べ替えステップ実行後の通常モードの非圧縮フレームについては 1 つの送信電力制御単位で、前記フレーム生成ステップ実行後の圧縮モードの圧縮フレームについては複数の送信電力制御単位で、送信電力を増加または減少させることにより、前記非圧縮フレームおよび前記圧縮フレームの送信電力を調整する制御ステップと、

を含むことを特徴とするスペクトル拡散通信方法。